

YASSI ROLLA (ヤシローラ)

施工要領書



※無断での他社へのデータ送信を禁止します。

この施工要領書は、標準的な施工方法を説明しています。

はじめに

ココヤシから生まれた「ヤシローラ」

ベトナムで誕生したココヤシの繊維でできた天然素材100%の
サステナブルなロール状のマットです。ゆくゆくは土に還る自然素材です。



●ヤシローラの製品サイズ・定価について

- ・ 0.6 x 2m (厚み35mm) : 定価 ¥6,400/巻
- ・ 0.6 x 5m (厚み35mm) : 定価 ¥12,000/巻
- ・ 1.0 x 2m (厚み35mm) : 定価 ¥9,000/巻
- ・ 1.0 x 5m (厚み35mm) : 定価 ¥20,000/巻



特性について

ヤシローラの特性について



●耐久性／耐候性／生分解性（天然素材100%）

ヤシの実の繊維は非常に強くトラックの積載荷重、タイヤの摩擦でも破れない耐久性を持っています。又、雨の日でも浸透するため、水溜りになりずらく、土のようにぬかるみにならずに歩くことができます。植物繊維の為いずれ土に還ります。

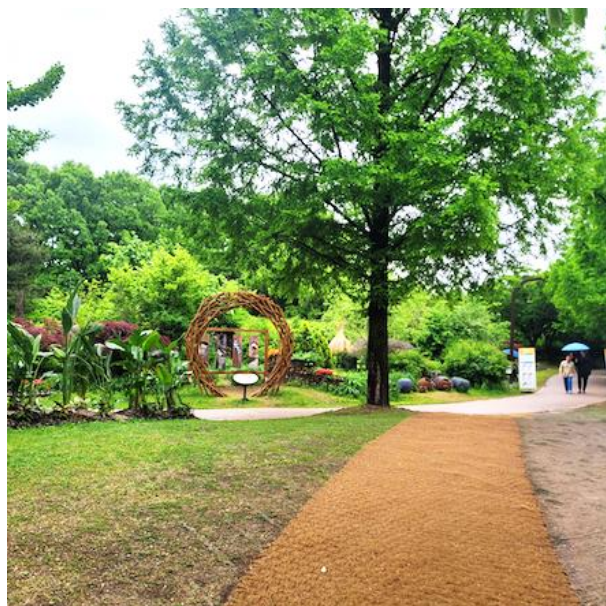


●簡単施工&防草効果

ヤシローラは“転がして敷く”、“カットする”、“U字ピンで固定”の簡単施工です。
又、太陽光を遮るため、防草効果を発揮する天然素材の防草対策です。

主な使用用途について

主な用途について



●主な使用用途

- ・駐車場、通路、公共施設、公園、登山道、野外施設、畑の遊歩道、庭、ドックラン
アプローチ（住宅・店舗）、キャンプ場、ぬかるみ対策 など

施工上の注意事項／メンテナンスについて

施工上の注意

●製品取扱について

- ・ロットごとに色・質感に差異がある場合がありますので、ご了承ください。
- ・保管時は直射日光、雨・雪を避けて保管してください。
- ・天然素材の為、設置当初は繊維が若干ほぐれる事がありますが、使用していくと落ち着いていきます。
- ・設置後は乾燥させてから、最終固定すると安定します。
- ・砂利、天然芝、ウッドチップとの併用は相性が良いです。
- ・ジョイントや端部などの境界部分はしっかり固定してください。
- ・防草シートと併用する事で、防草効果が向上します。

メンテナンスについて

●施工完了後の確認事項について

- ・浮き、ズレ、U字ピンの飛び出しがないかどうか確認してください。
- ・繋ぎ目の隙間が生じていないかどうか確認してください。
- ・排水は確保されているかどうか確認してください。

●メンテナンスについて

- ・特別なメンテナンスは基本的に必要ありません。
- ・落ち葉や汚れなどは、水洗いやブラシで除去してください。
- ・使用頻度にもよりますが、年1～2回を目処にU字ピンの緩みを確認して必要に応じて打直してください。
- ・ヤシローラの繊維が著しく劣化した場合などは、交換をご検討ください。

施工に必要な工具について

準備するもの

施工に必要な工具関係です



U字ペグ

※地面への固定に使用します。



ハンマー

※ペグの打込みに使用します。



スケール

※寸法確認、割付け



ノコギリ

※園芸用ノコギリ



小さいスコップ・鍬など

※下地整地用

※その他、必要に応じて防草シートなどをご用意ください。

※コンクリートやアスファルトでの設置の際、固定の場合はアンカーボルトが必要になります。

ヤシローラの施工方法①

施工の流れについて

●基本的な設置方法

- ・設置する箇所の下地状況を（土・砂利・アスファルトなど）確認してください。



①ヤシローラのマットが土の表面にしっかり馴染むように大きな凹凸を取り除いて、地面を軽くならしてください。

②ヤシローラを施工したい場所に広げます。※必要に応じて下地に防草シート敷設してください。



- U字ピンのピッチ間隔について
 - ・平坦な場合：50～80cm
 - ・傾斜地/強風地域：30～50cm
 - ・端部/角部分など：20～30cm
 - ・駐車場：30～50cm
 - ※繋ぎ目部分は特に密に

③風でめくれたり、ズレたりしないように、市販の防草シート用のU字ピンなどを一定の間隔（50～80cmくらいの間隔）に打込み、しっかりと地面に固定してください。

※右上図の赤丸がU字ピンでの固定イメージです。

※固定する下地が柔い場合は、ピンがに抜けやすいので注意してください。

土間コンやアスファルトの場合はアンカー設置が必要となります。

④障害や角に合わせて、カッターやハサミでカットできるため、形状に合わせて柔軟に調整が可能です。※排水経路が塞がれないように施工してください。

ヤシローラの施工方法②

施工の流れについて

●カットについて



・ヤシローラをカットする場合は、園芸用のハサミやノコギリでカットするとカットしやすいです。

●カットしたエンド部分の処理について



・ヤシローラのロープを長めにカットして、折り返して下に丸めて巻き込んでいきます。（写真④参照）



・U字ピンで巻き込んだ部分と一緒に地面に固定していきます。（写真⑥参照）

ヤシローラの施工方法③

施工の流れについて

● 曲線部分の施工について①



・ヤシローラを写真②のように曲線に沿って撓ませます。



・U自ピンとノコギリを用意します（※写真④はペグになっておりますが、U字ピンをご用意ください）



・ノコギリ等を使い撓ませた部分を切ってください。（写真⑤参照）
写真⑦がカット後の写真です。

ヤシローラの施工方法④

施工の流れについて

● 曲線部分の施工について②



・ カットした後、カット部分のヤシローラを上折り曲げてください。



・ 写真③のようにスコップや鍬などを使用し、写真④のようにカットした箇所の下地部分（土）を掘ってください。

ヤシローラの施工方法⑤

施工の流れについて

● 曲線部分の施工について③



- ・ カットした部分を写真①のように丸めて下に巻き込んでください。
※ 下地を掘った理由は折り曲げた分を下に巻き込んで入れるためです。

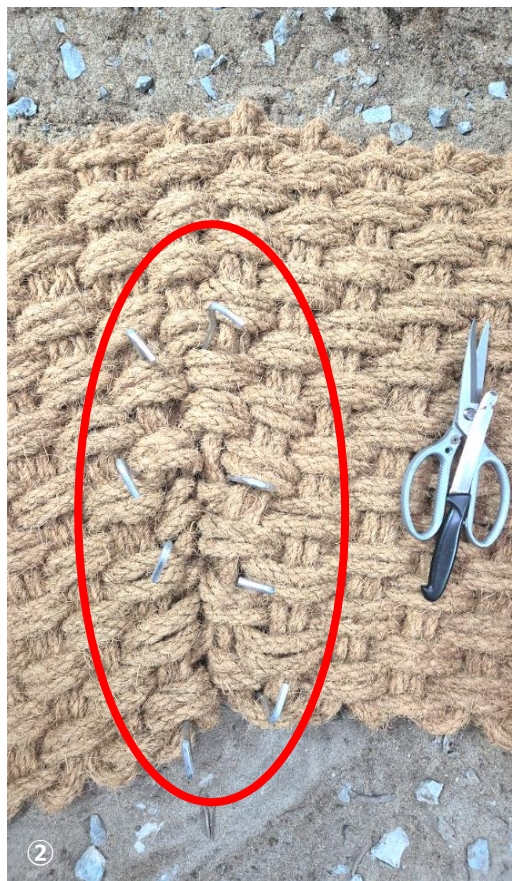


- ・ 写真⑤のように曲線のイメージができていきます。

ヤシローラの施工方法⑥

施工の流れについて

●曲線部分の施工について④



・写真②③のようにU字ピンを使って両側の下に巻き込んで折り曲げた部分を固定してください。U字ピンを多めに使って固定してください。



・写真④で曲線の施工は完了です。



輸入元

株式会社ヤマチコーポレーション 建材事業部

札幌本社：〒060-0001 札幌市中央区北1条西10丁目1-17 北一条山地ビルディング3F

東京支店：〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目5-7 YOUビル8F